

プログラミング序説 第4回レポート課題

- a. 1 から 60 までの整数のうち 4 の倍数以外を表示する C プログラムを, for 文を使って作成しなさい. 数字と数字の間はカンマ “,” で区切ること. また, 各行を説明しなさい.

C プログラムのファイル名を “r4a.c” (すべて半角), プログラム説明のファイル名を “r4a.txt” (すべて半角) とすること. また, プログラム説明のファイル r4a.txt には実行結果も貼り付けること.

このプログラムの実行結果の一部を実行例 1 に示す. ただし, r4a.c の実行ファイル名を a.out とし, プロンプトを -bash-X.X\$ で表す.

実行例 1

```
-bash-X.X$ ./a.out  
1,2,3,5,6,7,9,10,11,13,14,15,17,
```

- b. 1 から 60 までの整数のうち 4 の倍数以外を表示する C プログラムを, for 文を使って作成しなさい. ただし, 5 の倍数の数字をカッコ ([]) で囲み, 数字と数字の間は, カンマ “,” で区切ること. また, 各行を説明しなさい.

C プログラムのファイル名を “r4b.c” (すべて半角), プログラム説明のファイル名を “r4b.txt” (すべて半角) とすること. また, プログラム説明のファイル r4b.txt には実行結果も貼り付けること.

このプログラムの実行結果の一部を実行例 2 に示す. ただし, r4b.c の実行ファイル名を a.out とし, プロンプトを -bash-X.X\$ で表す.

実行例 2

```
-bash-X.X$ ./a.out  
1,2,3,[5],6,7,9,[10],11,13,14,[15],17,
```

- c. 10000 から 99999 までの整数のうち 5 の倍数でかつ 4 の倍数でない整数の数を数えて, その数値を表示する C プログラムを, for 文を使って作成しなさい. また, 各行を説明しなさい.

C プログラムのファイル名を “r4c.c” (すべて半角), プログラム説明のファイル名を “r4c.txt” (すべて半角) とすること. また, プログラム説明のファイル r4c.txt には実行結果も貼り付けること.

レポートの書式

- 書式は次のとおり.

1 行目: プログラミング序説 第4回レポート課題

2 行目: (「学生番号: 氏名」を記述.)

3 行目: (課題番号を記載. 例えば「a」)

4 行目以降: (実行結果を貼り付け, プログラムの各行の説明を記述.)